

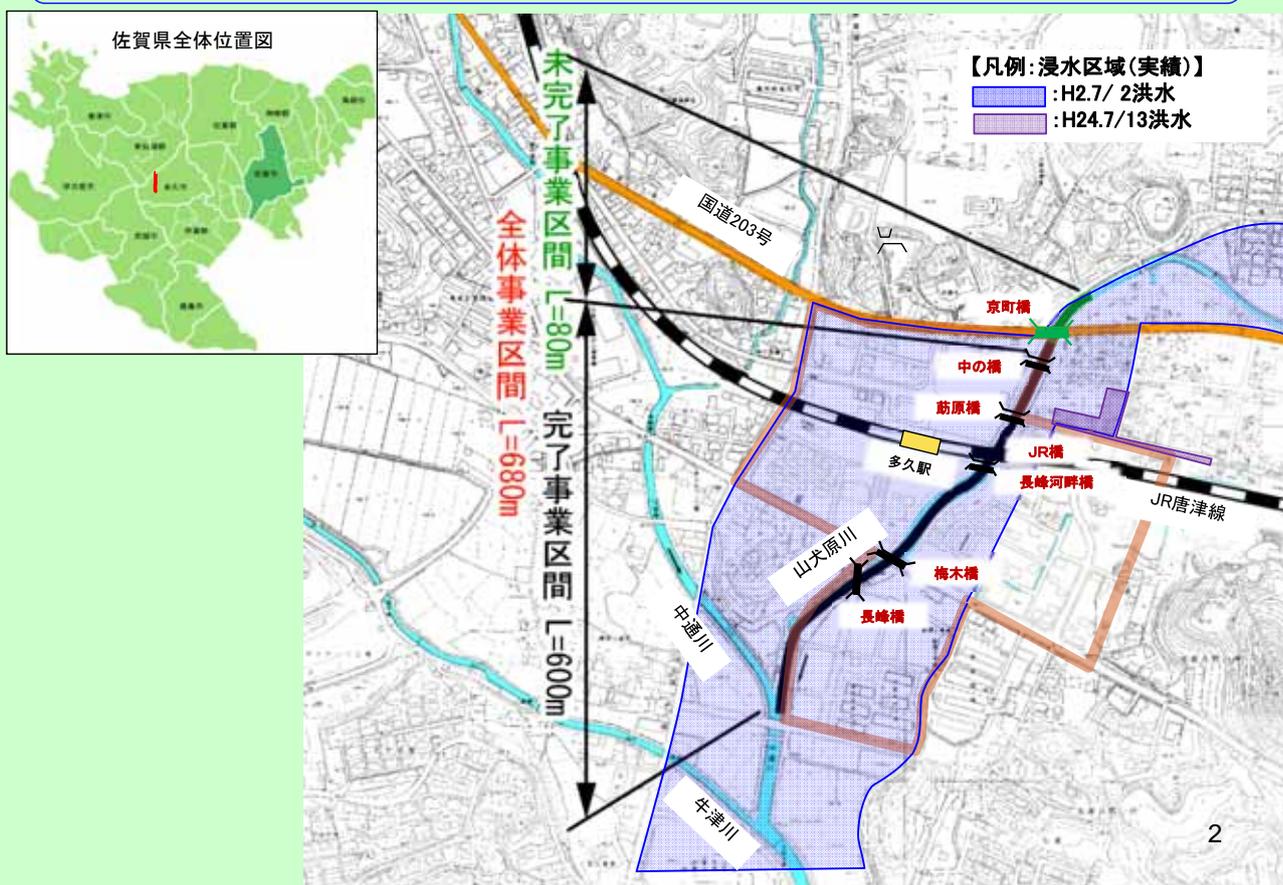
平成26年度 再評価委員会

河川名：六角川水系中通川
(山犬原川)

事業名：総合流域防災事業
(再評価実施後5年経過)

1

位置図



事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 230戸

浸水面積 70ha

○浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 $95\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 1/30

3

平成2年7月 梅雨前線豪雨 中通川

連続雨量358.5mm、最大24時間雨量351.5mm、時間最大雨量57mm

(小城観測所)



市道砂原中央線(中の橋の架かる市道)



中の橋付近の状況



国道203号冠水状況



平成24年7月豪雨について
(連続雨量216mm 最大24時間雨量376mm 時間最大66mm 小城観測所)

近年最大洪水となるが、中通川合流点～中の橋までの改修が進んでいたことから、筋原橋(あざみばる4ばし)左岸側の県道(小侍・多久原線)一部道路冠水と周辺家屋床下浸水程度の被害であった。

中通川(山犬原川)総合流域防災事業

着手年:平成7年度

事業地:多久市

○事業概要

- ・全体事業費
2,310百万円
- ・事業期間 H7~H30
- ・改修延長 680m
- ・計画流量 $95\text{m}^3/\text{s}$
- ・計画治水安全度 1/30
- ・掘削・築堤・護岸、
橋梁5基、堰1基



5

山犬原川 航空写真

○事業進捗状況

- ・中通川合流点から中の橋までの約600m区間が完了している。
- ・H25年末進捗率 62%
(事業費ベース)
- ・年平均進捗率 3.3%



6

費用対効果 B/C

総費用額C : 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用

総便益額B : 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額 (被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C : 3,299百万円

総便益B : 10,861百万円

内訳

- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 5,765百万円
- ・農作物被害(水稻、畑作物) 一百万円
- ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、下水道等) 4,295百万円
- ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 787百万円
- ・残存価値 14百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 10,861 / 3,299 = 3.3$$

7

改修完了区間状況



改修前
(H21.6)

筋原橋(0k500)より上流を望む



改修後
(H26.10)

8

改修未完了区間状況

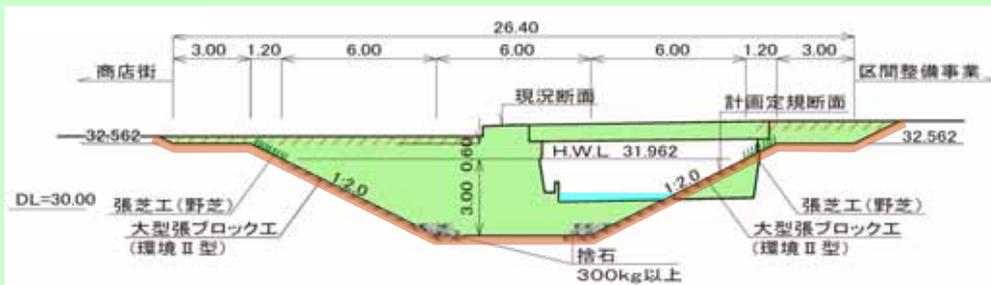
中の橋(0k560)より
上流を望む



6k680より
下流を望む



標準横断面図



9

今後の中通川(山犬原川) 総合流域防災事業の継続について

☆河川改修の効果☆

- ①治水安全度の向上
- ②平成2年7月洪水による
浸水被害 230戸
浸水面積 70ha の軽減
- ③地域住民の安心・安全の確保

☆今後の事業展開☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい

10